

地方共助社会 づくり懇談会 in 群馬

日時：平成 26 年 11 月 21 日(金)
13:30 から
場所：高崎市市民活動センター
「ソシアス」市民ホール
主催：内閣府 群馬県

プログラム

- 1 開会あいさつ
内閣府
- 2 基調講演 1
テーマ 「共助社会づくり懇談会における主な議論」
講師 日下部 英紀 内閣府政策統括官（経済社会システム担当）付
参事官（市民活動促進担当）
- 3 基調講演 2
テーマ 「共助社会を支える担い手づくり」
講師 水谷 綾 社会福祉法人大阪ボランティア協会事務局長
／内閣府共助社会づくり懇談会委員
- 4 パネルディスカッション
テーマ 「災害に備えた共助社会づくりに向けて」
コーディネーター
小竹 裕人 群馬大学社会情報学部准教授
パネリスト
梅澤 義夫 生活協同組合コープぐんま理事長
金井 昌信 群馬大学大学院理工学府准教授
水谷 綾 社会福祉法人大阪ボランティア協会事務局長
宮地 由高 特定非営利活動法人桐生市ボランティア協議会会長
- 5 閉会あいさつ
群馬県

メモ

登壇者 プロフィール

基調講演 1

日下部 英紀

内閣府政策統括官（経済社会システム担当）付参事官（市民活動促進担当）

1991年、経済企画庁入庁、内閣府男女共同参画局男女共同参画推進官、外務省国際協力局無償資金・技術協力課企画官、独立行政法人国民生活センター総務部企画調整課長、消費者庁総務課広報室長、消費者庁消費生活情報課企画官等を経て、2013年8月より現職

基調講演 2

水谷 綾

社会福祉法人大阪ボランティア協会事務局長／内閣府共助社会づくり懇談会委員

大阪在住。1997年に大阪ボランティア協会(<http://osakavol.org>)に入職し、2010年6月から同協会事務局長に就任。これまで、NPOの運営コンサルティング業務や研修活動、企業市民活動の促進など、市民活動を推進するための事業に取り組んできた。同協会では、ボランティアの参加による事業推進の実践を通じて、参加型社会の創造を目指している。著書など：「NPOと行政の協働の手引き」、「実践！NPOの会計・税務」、「これからのSR～社会的責任から社会的信頼へ」、「テキスト市民活動論」など。

パネルディスカッション コーディネーター

小竹 裕人

群馬大学社会情報学部准教授

群馬県在住。東京から群馬に来て18年目。専門は公共政策論。高等教育の政策効果分析、投票行動の分析、市民主体の政策形成過程に関する研究などを行っている。群馬テレビ放送番組審議会会長ほか、群馬県NPO・多文化共生推進課のNPO協働プラットフォーム意見交換会のコーディネーターをはじめ、前橋市、安中市、伊勢崎市などでも審議会や意見交換会などに参加、現場主義の研究スタンスを忘れないことを心がけている。

パネルディスカッション パネリスト

梅澤義夫

生活協同組合コープぐんま理事長

1977年群馬県民生協入協、SM店長、商品部部長、店舗運営部部長、地区長、管理部部長、1993年よりコープぐんま常務理事、専務理事を経て、2012年より現職。またコープネット事業連合常任理事、群馬県生協連副会長理事。前橋在住、趣味はフライフィッシング。

金井 昌信

群馬大学大学院理工学府准教授

専門は、災害社会工学。住民の災害情報理解特性や避難行動特性に関する調査研究を行うとともに、その知見を生かし、地域住民が主体となって、地域独自の避難計画を策定する取組を全国各地で支援している。群馬県内では、土砂災害危険地域において、地域住民とともに地域独自の避難方法を検討する取組を実践しているほか、各地域の緊急避難計画の作成などを支援している。

宮地 由高

NPO法人桐生市ボランティア協議会会長

NPO法人わたらせライフサービス理事長、NPO法人きりゅう女性支援グループいぶき副理事長、桐生災害支援ボランティアセンターセンター長、上州菓匠青柳代表取締役社長、桐生商工会議所副会頭、桐生観光協会会長、桐生市社会福祉協議会副会長、桐生市地域福祉計画、活動計画推進委員会委員長などの役職をしながら、その幅広い人脈を生かし、福祉、まちづくり、観光振興、災害支援、DV被害者支援などの事業に取り組んでいる。

メモ
